

# 尚綱学院大学

総合人間科学部

子ども学科

生活科学科福祉こども専攻こども保育コース

Q1.編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学後に、聖母では編入学に力を入れていることを知りました。その後の授業や、5回の実習を経験し、実際の保育の現場で行われていることに疑問を持ち、さらに深く学びたいと思うようになりました。今まで編入のことは頭にありましたが、その時初めて編入したいと本気で思うようになりました。

Q2.編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年生の2月にガイダンスがあり、実際に合格した先輩から話を聞くことができました。また編入に向けてどのように自分で勉強をすすめていけばよいか、先生からアドバイスがありました。

3. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の時から編入の授業に参加し、小論文の書き方や英語の授業を受けました。小論文は自分が書いたものを全員で回して読み、それぞれの小論文の良いところや改善すべきところなどを、先生も一緒に添削したりしました。2年生になってからは、聖母アワーの中の編入の授業に参加しました。その授業の中で出される小論文や英語の課題のほかに、自分で個人的に書いた小論文をキャリア支援センターに提出し、そこから複数人の先生に添削していただいたりしました。

Q4.編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語の授業内で先生がおすすめしていたワークを繰り返し解き、過去問もたくさん解くようにしました。こども保育コースでは5回の実習があり、実習と勉強の両立が難しかった為、実習中は実習に集中し、実習が終わったあとは勉強に専念しました。

Q5.聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

親と子の広場に参加し、子どもと関わったり、その保護者から直接話を聞いたりできたところです。親と子の広場は非常に自由度の高い開放的な空間になっています。その自由な空間の中で、のびのびと遊ぶ子どもたちと関わり、また自分たちで立てた計画を実践できたことも大きいです。そして、その実践を授業内に話し合い、みんなで振り返ることで、より子ども理解が深まったと感じています。

Q 6.先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

面接練習をする中でのアドバイスです。言いたいことが整理できず、うまく伝えられないときに、今までどのような学びや実習での経験があったか、そしてその中でどのようなことが得られたかなど、たくさん引き出し、話を頭の中で整理できるように支援してくれたことです。

Q 7.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを書ける範囲で教えてください。

①入学する前は早く現場に出て働きたい思いが強かったです。しかし入学前にオープンキャンパスに参加したことから、入学するのが本当に楽しみでした。

②実際に学生生活を送ってみると、日々学ぶ内容も多く大変でしたが、その内容はとても濃く、毎日充実していました。模擬保育や手品の授業など、現場ですぐに使えるようなことを習えるのが楽しかったです。

③編入してさらに勉強を続けていきたいと考えるようになりました。

④また2年勉強を続けられる機会が得られたことが本当に嬉しかったです。

Q 8.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

聖母での2年間は本当に短いです。4年制大学と比べ、限られた期間の中で学ぶことは多く、大変なこともあると思いますが、暖かい環境の中で毎日充実した生活を送ることが出来ると私自身実感しています。授業だけでなく、スポーツ大会や文化祭、クリスマスなど行事も盛りだくさんなので、楽しい短大生活になるとと思います！